

2014年フェイスブック共有リンク

【4月】

視点・論点 「遺伝子検査をどう捉えるか」

<http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/400/184680.html>

非常に興味深い対談です。

印象に残った部分を引用します。

①"もっとテヘペロが許容される社会になるといいですね。価値観が固まってしまうと、別に自分にそこまで迷惑がかかってない場合でも「許せない」って攻撃してしまいがちですが、「それぐらい大目に見ようよ」って言えるような、生き方の多様性を認めあえる社会。

"

→

学校は「失敗する自由」が認められている場所だということを、教員も意識しておく必要があるしそれを生徒に語ることによって、生徒自身に「失敗する練習」をさせてやることも大事だと思います。

そんな経験を積み重ねるからこそ、誰かが失敗しても「お互い様」で共助の思考にたどり着くのでしょう。

失敗する自由、失敗する練習を担保するのが、「テヘペロが許容される社会」であり、それを大人の社会ですぐに実現するのは難しいかもしれませんが、学校現場でそのようなマイルドを持って教育実践にあたることは重要であると思います。

②"イギリスの心理学者ジョン・ボウルビィが言った言葉で、心の安全基地と訳される「セキユア・ベース」という言葉があるのですが、これはとても大事なことだと思っています。いつでも自分がしたことを認めてくれる人、いつでも自分のことを思ってくれる場所。そういう場所があると人はがんばれるし、人に対して寛容になれます。逆に自己不安におびえていると、ちょっとしたことで他者を攻撃してしまいます。安全基地があるかどうか。どうやって今の教育の仕組みのなかに子どもにとっての安全基地をつくっていけるか。"

→

どんなに辛く苦しい状況であっても、たった一人でも自分を信じ、認めてくれる人がいるだけで人間は前を向いて生きていけると、実体験から思います。全ての生徒の「心の安全基地」には自分一人ではなれないと思いますが、個々の生徒にとっての「心の安全基地」の存在を確認し見守る態度、あるいは、それが無い生徒にはそれを作れるだけの「力」を

与えてあげること、それが教育現場に必要なだと思います。

③"決まったグループじゃなくて、教科やプロジェクトごとにどんどん流動化しながら、日常的に、そして継続的に学び合う経験を重ねていく。色んな子どもたちや先生たちがかかわり合い学び合うのが当たり前の学びの場をつくる。それでもツライという子もいるとは思いますが、どこかに気の合う子がきつといて、そのあたり、うまーく環境を作れたら、と思います。とにかく人間関係に流動性を、というのがポイントですね。"

→

朝井リョウさんの「世界地図の下書き」でも描かれていたように、「逃げる」ということを生きる上での選択肢の一つとして認めてやるということも必要だと思います。

「逃げ=弱い」というネガティブイメージからの脱却が必要です。

④"僕も学校をドロップアウトしているわけですが、「あー何かいろんな人がいるんだなあ」というか、勇気付けられたということがあって。夢もそうだけど、色んな例を見せてあげることが大事なんじゃないかと思います。"

→

教員が「世界を見せること」につながっていると思います。それはいつも全ての生徒に響くとは限らないけれど、様々な可能性の提示だけはし続ける。

熱意を持って、想いをこめて作成した学級通信がすぐさまゴミ箱に捨てられていて、それと向き合うことが辛いということも過去にありましたが、40枚のうち39枚が捨てられても1枚残っただけで0よりはいい。全てがゴミ箱だったならば、仕切り直して、でも発信は続けていく。それがいつか何かにつながるかもしれない。

そんな気持ちを後押ししてくれるコメントだと思います。

テヘペロが許容される社会に： 菅野一徳？ 家入一真

<http://dilemmaplus.nhk-book.co.jp/talk/2090>

山中教授×野田秀樹の細胞対談

http://business.nikkeibp.co.jp/article/report/20140325/261745/?n_cid=nbpnbo_leaf_bnl

【プレゼン】見やすいプレゼン資料の作り方【初心者用】

<http://www.slideshare.net/yutamorishige50/how-to-present-better>

今季のイチローを見ていると悩み事がどんどん吹き飛んでいく

<http://matome.naver.jp/odai/2139694606809025601>

新社会人の皆さんにも読んで考えて欲しい記事です。

「ほうれんそう」は、主体的に判断しその結果を受け止めるような態度を育てず、思考停止状態を生むことは多々あると思います。

東京都の教員の初任者研修でも、「何かあったら必ずすぐに管理職」が徹底されていますし、管理職も何か不安があれば教育委員会にすぐに「ほうれんそう」したくなります。失敗した時の責任の所在を移すことで自己防衛に走り、思考停止していくのだと思います。

民間企業のように、単純に「いくら分の権利」と換算できませんが、この記事と似たようなことは教育現場でも近年さらに増えているように感じます。いわんや生徒をや、ということです。

管理の盲目的な徹底は構成員の内発的動機付けを低下させます。

それは、若い頃に抱いた志や理想への諦観にもつながりかねません。

「誰かのために、何かのために、これをやりたい！実現したい！」

そんな純粋な気持ちが活きる「場」が、民間企業にも、教育現場にも必要です。

日本企業から最高のサービスが失われていくメカニズム～クレーム対応向上の代償

http://biz-journal.jp/2014/04/post_4605.html

これから志望校を考える高校生に読んで考えて欲しいと思います。

今年度は卒業予定者のいるクラスの担任なので、何らかの機会に生徒にも伝えたいと思います。

ただし、このような情報も鵜呑みにするのではなく、「自分の目を見て、自分の頭で考える」ことが大切です。

関連して何か情報をお持ちの方がいましたら是非ご教授下さい m(_ _)m

こんなホームページの大学は危ない

http://imnstir.blogspot.jp/2012/11/blog-post_24.html?m=1

肌の色は皆違う。人種でわけられない。

色覚多様性の例とともに、生物学的な「多様性」を実例で実感できます。

本来連続的な変化を示すものに「境界」を作ることは誰かにとっての「都合のよさ」があるはずです。

「人種」も、「歩いて移動していた時には素朴概念ではなかった」という話がありました。

短時間で長距離を移動できるようになって、肌の色の「違い」がはっきりします。
誰かの作った基準で切り取られた世界を見るのではなく、自分の物差しで世界を見る素地を身につけさせることも、学校教育の役割であり、生物学のリテラシーでもあると思います。

「肌の色は千差万別」1,600人以上の『色』をパントンに抽出したら、人種じゃ分けられないことが判明

<http://japan.digitaldj-network.com/articles/28356.html>

「言うべき時に言うべきことを言う」

これは教員にとって重要なことだと思います。

生物学的にどのような意味を持つかは詳しくは書いていないのでわかりませんが、こんなこともあるかもしれない、とヒントになる記事だと思います。

ネガティブ思考の人は「前向きに」と言われるほど更にネガティブに陥ることが判明（米研究）

<http://karapaia.livedoor.biz/archives/52160082.html>

同じシチュエーションでも幸福を感じやすい「心の構え」を持って欲しいと思います。
その「幸せの感受性」にも遺伝要因があるのかもしれませんが。
でも、ミスチルも歌っています。

どんな不幸からも喜びを拾い上げ
笑って暮らす才能を誰もが持っている

生徒を「幸せにする」のではなく、「幸せを感じる心を伝える」。
生物学でヒトをめぐる様々がわかってきても、その力を信じるのみです。

幸福度は遺伝である程度決まる？

<http://science.slashdot.jp/story/11/10/19/0928236/>

不登校や引きこもりが終わるのはどういうときか。
当事者目線の非常に示唆深い内容です。
書籍も読んでみたいと思いました。

リンク先より引用

“<家庭訪問して連れ出すというのは、外からトンネルの途中に穴を開けて、外の世界に引っ張り出すようなもの>だという表現が、的を射ていて面白い。そして、自分自身の「トンネル踏破（出口まで歩き通した）体験」を重ね合わせたうえで、多くの本人たちが望んでいる支援をこう推測する。

<トンネルを歩いている自分を応援し、踏破するエネルギーを補給してくれる、そんな支援なのではないでしょうか>

ふだんは斜め後ろにいて、いわゆる“伴走型”で支える“後方支援”だ。

丸山さんは、そうした不登校や引きこもりへと導いた違和感や不安感について、<無意識による「今の生き方はいずれ行き詰るぞ」という“予知能力”の表れであり、<その前にいったん退却して、自分を創り直してから再出発せよという“指令”である>と解釈してみせるのだ。“

不登校・引きこもりを終わらせるものは何か 経験者が自ら著書で語る「対応・支援」の道しるべ

<http://diamond.jp/articles/-/51764>

「面倒くさい」ことをどう考えるか。

宮崎駿さんの「大事なことは、たいてい面倒くさい」という言葉を思い出しました。

<http://www.nhk.or.jp/professional/2013/0826/>

<折れない心の育て方>

逆境をどう乗り越えるか。

心が折れないための4つの要素も納得です。

内発的動機付けを高める要素とも親和性が高いように思います。

そして、それに加えて人間関係。

ここに書かれているようなことも「心の構え」として重要だと思いました。

リンク先より引用

●本当に心の力を高めていくには何が大事か？

まずは今の例でもそうですが、何が大切なのかっていうのをご自分の中で客観的にきちんと把握しておかれるという事です。

そうすると、目の前の成功失敗に一喜一憂しないで済むという事があると思うんです。

そしてその大事なもののために諦めないで頑張る。

それ以外のところは上手に諦めるっていう、そういうふうな事がまず1つ大事だと思うんです。

もう1つは、1人で頑張る力というのは限られてますので、ほかの人と一緒にそういう事ができる、そういう環境を作るというのも大事だと思うんですね。

“折れない心”の育て方

～「レジリエンス」を知っていますか?～

http://www.nhk.or.jp/gendai/kiroku/detail02_3486_all.html

授業が始まると、睡眠時間が十分に確保できなくなります。

「睡眠負債」という概念、大事だと思います。

リンクが貼られている「昼寝のしかた」も参考になります。

リンク先より引用

●睡眠負債とは

睡眠不足が何日も続くと、借金のように積み重なっていき、人間の気力や体力を低下させ、日々のパフォーマンスを低下させることとなります。この睡眠不足が続いて蓄積された状態を睡眠負債と呼びます。例えば毎日1時間の睡眠時間を削ったならば、数日後には1日徹夜した時と同じくらい日中のパフォーマンスが低下してしまうこととなります。

また、睡眠負債はすぐに返済不可能なレベルにまで積み重なってしまい、これは週末に数時間多めに寝たくらいでは返却しきれないとのこと。さらに、大抵の人たちはこの睡眠負債が日中のパフォーマンスに及ぼす影響力を過小評価しています。

足りない睡眠時間を埋めるにはどうしたらいいのか？

<http://gigazine.net/news/20140417-how-avoid-sleep-debt/>

さえずりナビ

<http://weekly.ascii.jp/elem/000/000/214/214634/>

<https://pbs.twimg.com/media/Blgj-44CIAA3zc4.jpg:large>

新入社員が退職した。(前編)

<http://job.rikunabi.com/2015/company/blog/detail/r571700004/26/>

https://twitter.com/a_sa_minn/status/456821482232889344/photo/1

【5月】

人間を最も多く殺している生物は・・・？

<http://gigazine.net/news/20140501-mosquito-week-gatesnotes/>

「人体」の学習に。体の中が丸見えに！

ZygoteBody

<http://zygotebody.com/#nav=1.23.139.34.84.08>

赤ちゃんの時からある青いアザ。蒙古斑（もうこはん）ってなぜできる？

<http://matome.naver.jp/odai/2139839970978007201>

人間の進化に大きく関わった 5 種の動物たちとその事例

<http://karapaia.livedoor.biz/archives/52160211.html>

遺伝子の重複が生物の環境適応力の源

<http://news.mynavi.jp/news/2014/04/21/140/>

理研、マウス脳を透明化する技術—細胞単位で脳全体が観察可能に

<http://irorio.jp/nanataniguchi/20140424/129971/>

トマト香りで“集団自衛” 京大など解明

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20140429-00000013-kyt-126>

ラーニング・パターン

<http://learningpatterns.sfc.keio.ac.jp/>

生産性に関する以下の 5 つの神話について解説している記事。

神話 1：長時間働けばたくさんの仕事をこなせる

神話 2：イマドキの職場にはマルチタスクが必要

神話 3：先延ばしは敵である

神話 4：クリエイティブになりたいければデスクを整理整頓

神話 5：生産性とは、大量の仕事を次々こなしていくことである

「仕事に追われる」状況が続く時、以下のような発想も大事なのだらうと思います。

(記事からの引用)

もし、仕事を中断している時間や「生産的な仕事」ができていないアイドルタイムを完全になくす必要があるとしたら、私たちの脳が再充電される唯一の時間を完全になくしてことになるのです。精神衛生上、先延ばし・注意力散漫・退屈な時間はなくてはならないものなのです。

誤解を恐れずに言えば、あえて何もしないことを優先すべきときだってあるのです。

長時間労働、マルチタスク、先延ばし...巷にはびこる生産性の誤解を科学で解く

http://www.lifehacker.jp/2014/05/140503more_productivity_myths.html

がん転移の仕組み解明 京大、予防法開発に期待

<http://www.47news.jp/CN/201404/CN2014042101002360.html>

理研、体内時計を構成する「時計遺伝子」の最後の1つを発見

<http://irorio.jp/nanataniguchi/20140422/129330/>

科学とは、失敗の積極的活用である～STAPもノーベル賞もペンギンも

<http://diamond.jp/articles/-/52336>

育鵬社の公民教科書が話題に…

<http://togetter.com/li/661488>

その上司の言葉、「思考停止ワード」です

<http://toyokeizai.net/articles/-/36249>

歩くことで創造性がアップするという科学的な証明がされた

<http://kyouki.hatenablog.com/entry/2014/05/04/063803>

fox capture plan の2nd アルバムより。

かつこよすぎます。

<http://www.youtube.com/watch?v=bOppBGib0k>

自閉症、遺伝要因と環境要因の重要性は同等 調査報告

<http://www.afpbb.com/articles/-/3014185>

死にゆく人の血液のなかで起きていること

<http://wired.jp/2014/05/05/telomere/>

すごすぎます。

明星先生の「錯覚体験をすると、ヒトは本当に主観的な世界で生きてるんだなあと感じます」に共感。

是非、こちらで不思議体験をしてみてください。

リュージュフォーラム

<http://www.keel.ntt.co.jp/IllusionForum/index.html>

目的は成果なのか努力なのか

http://www.huffingtonpost.jp/dai-tamesue-x-aera-hakunetsu-web/effort-result_b_5307601.html

ネット依存は「つながり依存」？ - 渡辺敦司 -

<http://benesse.jp/blog/20140508/p1.html>

<https://www.facebook.com/ScienceMagazine/photos/a.290927525588.188352.96191425588/10152338425510589/?type=1>

C4 植物について、今ひとつ理解できていませんでしたが、こちらの記述ですっきりしました。

ここまで詳しく説明がなくても「光呼吸」の存在を知り、さらにルビスコの基質として二酸化炭素と酸素が競合しているというイメージがあればもっと本質的な理解が進むと思いました。

教科書や資料集だけの記述では、とてもではないですが、理解することが容易でないと感じます。

扱う必要もないのかも、とも思いますが、話題としては非常に面白いので、「やりたい生徒に発展課題として提示」することにします。

<http://mayorofsimpleton.seesaa.net/article/367452703.html>

法政大学キャリアデザイン学部

https://schoo.jp/campaign/2014/hosei_univ

ワールドカップ日本代表に落選した中村憲剛が綴った言葉に胸が熱くなる

http://www.huffingtonpost.jp/2014/05/13/kengo-nakamura_n_5320666.html

リンク先より引用

“「森(もり)」は「守り(まもり)」に通じ、「林(はやし)」は「生やす(はやす)」に通ずる。つまり、「森林」とは、「守り生やす」ことを意味する。

日本の焼畑は、略奪・破壊的なものではなく、生産・建設的なものであった。 “

英語で森林を意味する「Forest」は、「for rest」、「休む(rest)ための場所」だという。

<http://eikojuku.seesaa.net/article/211589662.html>

リンク先より引用

“海洋の窒素循環

窒素循環には様々な試算があるが、前出のデルウィッチによれば、生物自身による窒素固定量は、およそ 5400 万トン(陸上で 4400 万 N トン/年、海で 1000 万 N トン/年)、人類による工業的窒素固定は 3000 万トン/年であると推計されている。 “

2 窒素の循環等

<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/honbun.php3?kid=206&bflg=1&serial=8685>

当事者意識があふれた若者に、あなたは何を感じますか？

<http://blogs.bizmakoto.jp/teranishitakayuki/entry/20290.html>

「フロー体験の理解からもの見方や捉え方を変える」という論。

「競争」は、安定的、定常的にフロー状態を生み出すための「手段」。

その他、諸々。

少し頭が整理されました。

リンク先より引用。

“一言でいうと、

「競争関係は、相手との競い合いの中で、極めて安定的に自分の全力を出しきることを求められる」

ということ。

競争をすることによって、自分が何に集中しなければならないかということも分かるし、自分が考えていた枠組みを超えて、相手という立場との相互の関係の中で「相手よりも高く」と目指すことで、自然と 100%の能力を引き出されることになるわけです。

なので、競争における小手先の戦術での勝利には、その戦術を考えだすという点では難易度が上がり成長を促すけれど、そうした工夫がなく、単純に信義則などに反することを行なって勝利することには、信義則への忠誠を失くすというダメージに加えて、なんら難易

度向上に貢献せず、むしろ難易度への挑戦を放棄するという意味で、逆効果となり、これも直感的なことと合致するわけです。“

「フロー体験」理論のあまりの凄さに戸惑いを隠せない

<http://blogs.itmedia.co.jp/yasuyasu1976/2011/11/post-66a9.html>

総務相が「通称 変な人」を募集しています。

平成 26 年度「独創的な人向け特別枠（仮称）」に係る業務実施機関の公募

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01tsushin03_02000075.html

教育現場で ICT がどう使われているかが分かるまとめ

<http://togetter.com/li/671180>

大学にしかできないことは、「抽象化」と「具象化」のいたりきたり。

昨年の東京造形大学長の入学式式辞「経験という牢屋」を思い出しました。

短大、専門学校、就職ではなく、「大学」に行く意味の一つとして心に留めておこうと思います。

抽象化と具象化のトレーニング!?：大学にしかできないことは何か？ 荻谷剛彦先生との対談をとおして

http://www.nakahara-lab.net/blog/2014/05/post_2224.html

リンク先より引用

“ 結局、高度に発達した知識社会を渡り歩いていくためには「抽象化」と「具象化」の「円環的思考と実践」を、個人が自ら回していけることが重要なのだと思います。

そうした思考をトレーニングする場としての大学というのは、まさに「我が意を得たり」という感じでした。

このことは考えてみると、それほど「奇をてらったこと」ではないのですが、ともすれば、忘れ去られがちな視点だな、と思いました。“

東京造形大、2013年度入学式学長式辞

「経験という牢屋」

大学に行く意味はあるのか？もっとリアルな経験を積んだ方が成長できるのではないかな？そんなことを考えている若者に読んで欲しい文章です。

2013 年度入学式 諏訪学長による式辞

<http://www.zokei.ac.jp/news/2013/001-1.html>

卒業式を中止した立教新座高校 3 年生諸君へ。(校長メッセージ)

<http://niiza.rikkyo.ac.jp/news/2011/03/8549/>

Using philosophy: Ittoku Tomano at TEDxTokyo

<https://www.youtube.com/watch?v=XdgwU8Y1nfY>

ADHD ってなんだろう 「知ること」 から 「はじまる」 こと。

<http://dout.jp/1293>

【6月】

オリジナリティのある教え方について

<http://ameblo.jp/tahara-phys/entry-11864957761.html>

これも「守破離」なのだと思います。

そして、「創造性＝点をつなぐこと」ということにもつながります。

こういうパーソナリティをお互いに受容し、生かせるような社会は素晴らしいと思います。これを読んで自分がクリエイティブと思う人も、そうでない人も、それぞれに色んな才能を持っています。この記事を優越感や劣等感の源泉とするのではなく、ある「才能」を見出し認めるきっかけとして活用し、そんな積み重ねでそれぞれの「才能」を互いに認め合い補完できると「幸せ」を感じやすいと思います。そんな世界の実現を教育を通じて目指します。

クリエイティブな人はココがちょっと違う！ 22のの違い

<http://curazy.com/archives/12127>

「イノベーション対話ツールの開発」について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/1347910.htm

認識しておくべき内容だと思います。

サイト内の記述を引用してざっくりまとめると、以下のような内容です。

僕自身も、授業実践の中でのデータの蓄積と分析、授業実践の裏付けとなる根拠の提示と

いうものを意識したいと思います。

●日本の現状

・データ分析は、ビジネスの世界では当たり前とされているが、日本の教育政策は、個人的な経験をベースに議論されることが多い。

●エビデンス・ベーストとは

- ・アメリカでは、“科学的な根拠”を政策に反映するのが一般的。
- ・2002年『落ちこぼれ防止法』により、効果があることが科学的に立証されなければ、連邦予算をつけないという方針に転換。
- ・アメリカでは、教育政策の効果を測定するために大規模な社会実験が実施される。
- ・経済では、すべてにおいてトレードオフの関係が成り立っている。教育にもその発想が必要。

●わかってきたこと

- ・じつは学歴は年収に影響しない。
- ・5歳以下の教育や健康への投資が、生涯に渡って大きな影響を与える。

「じつは学歴で年収は変わらない」日本の教育を変えるエビデンス・ベーストとは？ 中室牧子さんに聞く

http://www.huffingtonpost.jp/2014/06/06/makiko-nakamuro-education_n_5457388.html

時間限定

<http://kotonoha1966.cocolog-nifty.com/blog/2014/06/post-b8bd.html>

グローバル社会を支える小さな昆虫たち

http://www.huffingtonpost.jp/yuta-takayama/insect-global_b_5487388.html?utm_hp_ref=japan

「和顔愛語 先意承問」で幸せに生きる。

<http://blogs.bizmakoto.jp/teranishitakayuki/entry/20328.html>

乳幼児のうちに様々な細菌やアレルギーに晒されることでアレルギー発症のリスクが抑えられるという研究結果が報告される（米研究）

http://karapaia.livedoor.biz/archives/52165726.html?utm_source=dlvr.it&utm_medium=facebook

失敗しない人を信用してはいけない

http://www.huffingtonpost.jp/yuuya-adachi/failure-trust_b_5495788.html

人は集団で行動すると道徳観が薄れ、倫理的思考ができなくなることが脳の MRI スキャンで明らかに (米研究)

<http://karapaia.livedoor.biz/archives/52166200.html>